

# 平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	157	事業名	大学連携の推進
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	区内に多くの大学が存在するという特徴を活かし、区と区内大学が様々な分野において相互に連携・協力することにより、文京区の魅力を高めていきます。		
手段	区内大学の連携担当者会議や学長懇談会など、区と大学との連携を進めていく会議体等を、これまでに引き続き設けていきます。また、大学連携推進検討会を設置し、より具体的な連携のあり方を検討して行きます。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
学長懇談会の実施	年	1	1	1	100%	1	1	100%	1
地域連携担当者会議	年	2	3	2	67%	3	2	67%	3
大学連携検討会	年	—	4	2	50%	4	1	25%	4

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	193	539	239	462	174	356
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	193	539	239	462	174	356
所要人員 B	0.30	0.90	0.90	0.90	0.90	0.80
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	2,060	6,133	6,089	6,250	6,110	5,530
総経費 E=A+D	2,253	6,672	6,328	6,712	6,284	5,886

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	
【成果】	区と区内大学・短期大学及び大学間の連携等を一層進めていくために、各大学の事務担当者が出席する「地域連携担当者会議」を7月と12月の2回実施し、大学連携について意見交換・情報共有を行いました。1月には、区内大学学長懇談会を開催し、「大学が考える地域貢献」を議題として、大学連携の一層の推進に向け、大学と区の意見を相互に交わしました。また、大学連携に関する庁内会議を設置し、大学連携についての区の考えを集約できる場を整えました。	【成果】	区と区内大学・短期大学及び大学間の連携等を一層進めていくために、各大学の事務担当者が出席する「地域連携担当者会議」を7月と12月の2回実施し、大学連携について意見交換・情報共有を行いました。また、連携の方向性を検討するため、「大学連携検討会」を5月に開催しました。1月には、「区内大学学長懇談会」で大学と区の意見を相互に交わしました。
【課題】	地域連携や地域貢献に対する各大学の考えや姿勢に異なりがあるため、今後の大学連携の取り組みについて、各大学と区が共通イメージを持つことが必要です。	【課題】	地域連携や地域貢献に対する各大学の考えや姿勢に異なりがあるため、今後の大学連携の取り組みについて、各大学と区が共通イメージを持つことが必要です。また、昨年度の課題を解消するために、新たに大学連携検討会を立ち上げましたが、積極的な意見交換の場としていく必要があります。
指標達成度		26年度	27年度
		B	B

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①国際交流が進む中、区内大学でも留学生が増えています。それに伴い、大学間の留学生の交流や地域との交流と国際理解が求められています。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	区と区内大学、大学相互間の連携を推進するために会議の運営や情報提供を行います。
27年6月末	現状維持	② 当初予算の増減内訳 大学連携検討会開催回数減による報償費、旅費、食糧費が△106千円減額です。
28年5月末	現状維持	③ 所要人員の考え方 常勤職員 1人×0.8=0.8人 ④ 現状維持の理由 大学地域連携担当者会議等で大学との新たな連携を模索しています。

# 平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	158	事業名	生涯学習一日体験フェア
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	生涯学習の機会について区民に幅広く情報提供するとともに、サークル活動発表等「学び」の成果を発表する場を提供し、区民の生涯学習活動への参加を支援します。		
手段	文京アカデミア講座の企画協力団体等が一堂に集い、講座の内容紹介、学習相談、学習情報の提供及びサークル活動の成果発表の場となる生涯学習一日体験フェアを実施します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
一日体験フェア開催数	回	2	2	2	100%	2	2	100%	2

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	320	330	330	330	330	330
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	320	330	330	330	330	330
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	1,030	1,022	1,015	1,042	1,018	1,037
総経費 E=A+D	1,350	1,352	1,345	1,372	1,348	1,367

4 評価				
事業の成果及び課題				
26年度	27年度	28年度		
<b>【成果】</b> 参加大学・団体数は79団体、来場者数は1,389人に及び、盛況でした。来場者アンケートの結果も良好で、生涯学習講座の紹介やサークル活動の成果発表の場としての役割を果たしています。	<b>【成果】</b> 参加大学・団体数は90団体、来場者数は1,532人に及び、前年度以上に盛況でした。来場者アンケートの結果も良好で、生涯学習講座の紹介やサークル活動の成果発表の場としての役割を果たしています。	<b>【成果】</b> （公財）文京アカデミーの自主事業「地域アカデミーまつり」と一体化して実施したため、参加大学・団体は128団体、来場者数は2,129人と大幅に増えました。来場者アンケートの結果も良好でした。		
<b>【課題】</b> より多くの区民に対して生涯学習の機会について情報提供するために、一層周知に努める必要があります。参加団体からは、開催日増を望む声がありますが、費用対効果の面や実行委員会の体制等について、検討する必要があります。また今後も、学習相談コーナーの設置等を通じて、生涯学習活動に対する支援に努めてまいります。	<b>【課題】</b> より多くの区民に対して生涯学習の機会についての情報提供をするために、引き続き周知に努める必要があります。参加者からは体験コーナーの拡充を望む声がありますが、使用会場や事業全体のスケジュール、実行委員会の運営体制などを検討する必要があります。	<b>【課題】</b> これまでと同様に、区民に生涯学習の機会について周知するとともに、開催日数や回数について来場者や参加者の意見も踏まえて検討する必要があります。		
<b>指標達成度</b>		26年度	27年度	28年度
		A	A	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
① 「生涯学習を知ることができた」「日頃の成果発表ができてよい企画だ」「2日間開催してほしい（8月期アンケート）」（来場者アンケート）	
② 本事業は、生涯学習支援者や事業の参加団体等で構成された実行委員会との協働により実施しています。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	① 事業の展開内容 （公財）文京アカデミーの自主事業と一体化させた事業として、来場者や参加者の意見を踏まえて検討していきます。 ② 当初予算の増減内訳 増減なし
27年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方 $3/12月 \times 2人 \times 30\% = 0.15人$
28年5月末	改善・見直し	④ 現状維持の理由

# 平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	159	事業名	生涯学習支援者の育成及び活動機会の提供
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	地域の生涯学習のリーダーとなる「文の京生涯学習司」、地域文化事業に貢献する「文の京地域文化インタープリター」、アカデミア講座の運営を支援する「文京アカデミアサポーター」など、生涯学習支援者の育成やスキルアップを図るとともに、活動機会の提供・充実を図ります。		
手段	生涯学習支援者を育成する講座や育成した人材が一層のスキルアップを図ることができる講座を実施します。 また、生涯学習支援者が連携を深め、活動できる機会を設けます。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
生涯学習司養成講座開催回数	回	-	1	1	100%				1
インタープリター養成講座開催回数	回	-				1	1	100%	
サポーター養成講座開催回数	回	1	1	1	100%	1	1	100%	1
学習支援者スキルアップ講座開催回数	回	2	10	3	30%	10	8	80%	10
学習支援者連絡会開催回数	回	2	2	2	100%	2	2	100%	2

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	816	1,415	1,415	1,415	1,415	1,448
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	816	1,415	1,415	1,415	1,415	1,448
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	1,030	1,022	1,015	1,042	1,018	1,037
総経費 E=A+D	1,846	2,437	2,430	2,457	2,433	2,485

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度	27年度	28年度	
<b>【成果】</b> サポーターは新規登録21人を加え、累計148人となったほか、学習支援者を対象とするスキルアップ講座や連絡会を開催しました。 また、生涯学習司やインタープリターが企画運営を行う特別公開講座や生涯学習支援者が企画運営を行う生涯学習一日体験フェア、インタープリターが企画・制作を行う企画展「徳川慶喜生誕・終焉の地ぶんきょう」を開催しました。	<b>【成果】</b> 生涯学習司養成講座を実施し、生涯学習司認定者は新規認定17人を加え累計164人となりました。また、サポーターは新規登録21人を加え累計169人となりました。その他、生涯学習支援者を対象とするスキルアップ講座（著作権1講義、パソコン2講義）や生涯学習支援者連絡会を開催しました。 また、特別公開講座（3講座）やシネマサロン特別番組、生涯学習一日体験フェアは、いずれも生涯学習支援者が企画・運営を行いました。	<b>【成果】</b> インタープリターは、新規認定25人を加えて認定者は累計108人に、サポーターは新規登録15人を加えて登録者は累計184人となりました。その他、生涯学習支援者スキルアップ講座では新アカデミー推進計画の概要説明など8講座を開催しました。 また、特別公開講座や映画上映会などでは、生涯学習支援者が企画や運営を行いました。	
<b>【課題】</b> 生涯学習支援者の活動の場について、引き続き拡充を図る必要があります。生涯学習支援者は、企画展や各種生涯学習講座の実施・運営に携わり、今後も育成した人材のスキルアップを図る機会や、活動機会の提供を行っていく必要があります。	<b>【課題】</b> 生涯学習司やインタープリター等の生涯学習支援者について、より一層若年世代の開拓を図る必要があります。さらに、育成した人材のスキルアップを図る機会や、活動機会の場の提供を引き続き行っていく必要があります。	<b>【課題】</b> 生涯学習司やインタープリター等の生涯学習支援者について、引き続き若年世代の開拓を図るとともに、スキルアップを図る機会や活動機会の提供を行っていく必要があります。特にインタープリターについては、新規認定者と既認定者との連携や活動機会の提供・充実に努める必要があります。	
<b>指標達成度</b>			
	26年度	27年度	28年度
	A	B	B

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
②	生涯学習支援者との協働により、事業を実施しています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	拡充	平成28年度は生涯学習司養成講座を実施します。
		② 当初予算の増減内訳
		生涯学習支援者育成に係る講座等の指定管理料の増 33千円
		③ 所要人員の考え方
		3/12月×2人×30%=0.15人
		④ 現状維持の理由
28年5月末	現状維持	引き続き、生涯学習支援者に対し、育成及びスキルアップ、活動の機会を提供していく必要があります。

# 平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	160	事業名	大学・企業等との協働の推進
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	大学、企業及び団体と連携した事業を展開し、区民ニーズに合った生涯学習の機会を提供します。		
手段	大学の学習環境や高度かつ専門的な知的財産を活用するため、大学プロデュース特別公開講座（大学学長講演会）を実施します。また、企業や団体の社会貢献事業を積極的に誘致し、メセナ講座・講演会を実施します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
大学プロデュース特別公開講座開催回数	回	2	2	2	100%	2	2	100%	2
メセナ講座・講演会開催回数	回	4	3	4	133%	3	1	33%	3

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	1,920	206	206	206	206	360
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,920	206	206	206	206	360
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	1,030	1,022	1,015	1,042	1,018	1,037
総経費 E=A+D	2,950	1,228	1,221	1,248	1,224	1,397

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	
28年度		28年度	
【成果】	大学プロデュース特別公開講座を2回、メセナ講座・講演会を4回開催しました。受講者に対するアンケートの結果も良好でした。	【成果】	大学プロデュース特別公開講座を2回開催しました。また、メセナ講座・講演会を4回開催しました。（うち2回は新たな企業等との連携による。）受講者に対するアンケートの結果も概ね80%を超える満足度を得ることができ、好評でした。
【課題】	大学及び企業等との連携が不可欠です。大学については、生涯学習担当者連絡会等を通じて、今後も引き続き連携の強化を図ります。企業・団体等についても、引き続き新たな協力先の開拓に努める必要があります。	【課題】	引き続き、新たな協力先の開拓に努める必要があります。また、講座内容については、受講者の満足が得られるように、引き続き大学・企業・団体等と調整していく必要があります。
【成果】		【成果】	
大学プロデュース特別公開講座を2回開催しました。また、メセナ講演会は、協力先企業等との調整の結果、開催回数は1回となりました。講座受講者に対するアンケートの結果においても、満足度は平均75%に達することができ、好評でした。		メセナ講演会の協力先企業等について、引き続き新たな開拓に努める必要があります。	
<b>指標達成度</b>			
		26年度	27年度
		A	A
			28年度
			B

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①	受講者アンケートでは、平均75%の満足度が得られました。
②	本事業は、区内大学や区内企業・団体等との連携により実施しています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	
26年6月末	改善・見直し	① 事業の展開内容 引き続き、大学との連携強化に努めます。また、企業・団体等については新たな協力先の開拓に努めていきます。
		② 当初予算の増減内訳 講座実施に伴う経費の増 154千円
27年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方 3/12月×2人×30%=0.15人
		④ 現状維持の理由 引き続き、大学や企業等、協力先との連携強化に努めていきます。
28年5月末	現状維持	

# 平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	161	事業名	文京アカデミア講座（生涯学習講座）
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミア推進計画		
所管	アカデミア推進部	アカデミア推進課	
目的	区民ニーズに合った生涯学習の機会を提供するとともに、いつでも、どこでも、誰でも学習できる機会の充実を目指し、区民の生涯学習活動への参加を支援します。		
手段	地域、文学、歴史・社会、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなどバラエティに富んだ内容の講座を提供するとともに、大学等各種提案主体の特長を活かし、受講者の満足を得られる講座を提供します。また、資格取得キャリアアップ講座やe-ラーニング講座など、多彩なメニューを提供します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
自主企画講座の実施回数	回	15	16	16	100%	16	18	113%	16
民間教育機関企画講座の実施回数	回	31	32	30	94%	32	26	81%	32
大学キャンパス講座の実施回数	回	32	28	32	114%	28	32	114%	28
区民プロデュース講座の実施回数	回	12	15	13	87%	15	16	107%	15
いきいきアカデミア講座の実施回数	回	1	1	1	100%	1	1	100%	1
子どもアカデミア講座の実施回数	回	13	14	14	100%	14	14	100%	14
e-ラーニング講座の実施回数	回	3	3	3	100%	3	3	100%	3
個別テーマ(パソコン等)講座の実施回数	回	33	24	33	138%	24	35	146%	24

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	9,476	11,988	11,988	11,988	11,988	13,867
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,476	11,988	11,988	11,988	11,988	13,867
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	1,030	1,022	1,015	1,042	1,018	1,037
総経費 E=A+D	10,506	13,010	13,003	13,030	13,006	14,904

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度	27年度	28年度	
<b>【成果】</b> 指標ごとの講座の実施回数に増減はありましたが、講座全体では、概ね計画数を達成できました。受講者アンケートでは、ほとんどの講座で80%を超える満足度に達しており、講座内容は充実しています。	<b>【成果】</b> 区民プロデュース講座の実施数が計画数に達しなかったものの、大学キャンパス講座は計画数を上回る実施ができ、その分、民間教育機関企画講座の実施数を抑え、講座全体では計画数を達成することができました。受講者アンケートでは、ほとんどの講座で80%を超える満足度に達しており、講座内容は充実しています。	<b>【成果】</b> 区内大学との連携及び生涯学習支援者から多数の講座提案が寄せられたことから、これらの講座が計画数を上回ることができ、その分、民間教育機関実施講座の実施数を抑え、講座全体としては計画数を達成することができました。受講者アンケートでは、ほとんどの講座で80%を超える満足度が得られました。	
<b>【課題】</b> 勤労者や子育て世代の需要にも応えていくため、こうした世代のニーズを考慮した内容や開催日時の講座を実施していますが、更に充実させる必要があります。	<b>【課題】</b> 一部には応募倍率が約3～9倍に及ぶ受講希望者が集中した講座があり、受講定員の拡大や同講座の再実施の要望があります。こうした要望を踏まえ、区民ニーズを考慮した講座企画を行う必要があります。	<b>【課題】</b> 区民ニーズを踏まえ、あらゆる世代の需要に応じることのできる講座を継続して実施していくために、区内大学や生涯学習支援者との連携に努め、幅広く講座企画を行っていく必要があります。	
<b>指標達成度</b>			
	26年度	27年度	28年度
	B	B	B

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①	ほとんどの講座で受講者の満足度が80%を超えていて、一部は90%を超えるなど、好評を得ています。（受講者アンケートから）
②	区民提案講座（区民プロデュース講座）、区民委員による企画講座、生涯学習支援者による企画講座など、区民参画により企画された講座を多数実施しています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を踏まえ、外国人おもてなし英会話講座を実施します。 <b>② 当初予算の増減内訳</b> 外国人おもてなし英会話講座等の増 1,879千円
27年6月末	現状維持	<b>③ 所要人員の考え方</b> $3/12月 \times 2人 \times 30\% = 0.15人$
28年5月末	拡充	<b>④ 現状維持の理由</b>



# 平成28年度 事務事業評価表【B様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	162	事業名	インターネット施設予約システムの更新
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	施設利用者に対して更に利便性・操作性に優れたサービスを提供するとともに、システムの処理機能を見直すことで施設管理者の事務処理の一層の効率化を図ります。		
手段	施設予約システムに対する、利用者・施設管理者の双方の要望を把握し、それらを適切に反映できるよう更新を行います。		

2 取組状況	
25年度	
26年度	システムの現状分析を行うとともに、関係部署との調整・協議を行いました。また、他自治体の動向の把握に努めました。
27年度	施設予約パッケージシステムを提供する3事業者にRFI(情報提供依頼)を実施し、情報収集を行いました。その結果、機能改修や対応するOS・ブラウザ等の動作環境の拡充をする形で現行システムを継続することとし、更なる利便性・操作性の向上に努めました。

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A		0	0	0	0	35,616
特定財源		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	35,616
所要人員 B		0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
職員1人給与 C		6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C		1,363	1,353	1,389	1,358	1,383
総経費 E=A+D		1,363	1,353	1,389	1,358	36,999

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】		【成果】 施設予約システムの更新に向け、現状分析を行うとともに、他自治体の動向の把握に努めました。		【成果】 RFIの実施等により検討した結果、現行ソフトを継続使用することとし、今後の施設追加に備えた利用者種別の上限拡大を始めたこと、各種機能の改修事項の整理に努めました。	
【課題】		【課題】 施設料金や予約期間の変更等、施設の運用方針の移行に対して迅速・柔軟に対応できるシステムを構築し、併せて運用経費の削減を必要とあります。		【課題】 ソフトの更新（機能改修）に併せて機器類の更新についても、利用者のシステム利用に支障を来すことなく、安全にデータ移行を行えるよう、進行管理をしていく必要とあります。	
達成度		26年度	27年度	28年度	
			A	A	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①検索方法や画面表示に関する改善要望が挙がりました。
②平成27年度実施のアカデミー推進協議会にて、利用者アンケートを実施しました。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	ソフトの更新及びハードの入替えを実施します。
		② 当初予算の増減内訳
27年6月末	現状維持	更新に係る経費（機能改修経費、更新経費、機器入替経費等）の皆増
		③ 所要人員の考え方
28年5月末	拡充	0.1×2人=0.2人
		④ 現状維持の理由

# 平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	164	事業名	生涯学習情報の一元化及び相談拠点の整備
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	区民がいつでも、どこでも生涯学習に参加できるように、様々な主体が実施している生涯学習事業の情報を一元化するとともに、気軽に相談できる窓口などの情報拠点を整え、一人ひとりの知識や意欲に応じた「学び」との出会いを支援します。		
手段	区ホームページと指定管理者、大学等と関連情報の相互リンク等を推進し、情報のネットワーク化を図るとともに、相談拠点を設けます。また、情報紙の発行に対する補助や、ホームページ、パンフレットによる情報提供を行います。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
情報紙の発行	回	12	12	12	100%	12	12	100%	12
講座案内の発行	回	4	4	4	100%	4	4	100%	4
情報コーナーの設置	か所	0	—			1	0	0%	—

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	11,987	12,973	12,973	12,935	12,935	16,219
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	11,987	12,973	12,973	12,935	12,935	16,219
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	1,030	1,022	1,015	1,042	1,018	1,037
総経費 E=A+D	13,017	13,995	13,988	13,977	13,953	17,256

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】 生涯学習活動について、情報紙（スクエア）や講座案内、ホームページや区報等を通じて情報提供に努めました。 また、生涯学習一日体験フェアに学習相談コーナーを設け、区民の生涯学習活動に対する支援を行いました。		【成果】 生涯学習活動について、情報紙（スクエア）や講座案内、ホームページや区報等を通じて、引き続き情報提供に努めました。 また、生涯学習一日体験フェアに学習相談コーナーを設け、区民の生涯学習活動に対する支援を行いました。		【成果】 生涯学習活動について広く区民への周知を図るため、情報誌（スクエア）の配布、ホームページや区報等の広報紙面等に工夫を凝らし、引き続き情報提供に努めました。 また、生涯学習フェアにおいて学習相談コーナーを設けてPRを行うなど、区民の生涯学習活動に対する支援を行いました。	
【課題】 生涯学習活動について、従来の情報提供方法に加え、区ホームページを起点とする情報のネットワーク化を図ることで、区民に対する一層の情報提供に努める必要があります。		【課題】 生涯学習活動について、区民に対する一層の情報提供に努める必要があります。 さらに、従来の情報提供方法に加え、より区民が把握しやすい情報提供の仕方を検討していく必要があります。		【課題】 生涯学習活動について、区民に対する一層の情報提供に努める必要があります。 なお、様々な区民ニーズにきめ細やかに対応するため、生涯学習相談窓口を充実させていく必要があります。	
指標達成度		26年度	27年度	28年度	
		B	A	B	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
① 直接相談に応じてもらえる体制を望む声があります。
② 生涯学習相談には文の京生涯学習司が当たることにより、区民参画による事業として実施します。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	拡充	情報誌（スクエア）の音声化対応を開始します。また、様々な区民ニーズに対応するため、生涯学習相談窓口を平成28年6月から開始し、より充実した情報提供に努めます。
27年6月末	現状維持	② 当初予算の増減内訳 指定管理料の見直しによる委託費等の増 3,284千円
28年5月末	拡充	③ 所要人員の考え方 3/12月×2人×30%=0.15人 ④ 現状維持の理由

# 平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	165	事業名	図書館におけるICTサービスの拡大
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	【小項目】 図書館機能の充実		
所管	教育推進部	真砂中央図書館	
目的	利用者がインターネットを利用してホームページから図書館資料の検索・予約等を円滑に行うことができるよう、また、図書館職員が図書館システムを活用し業務の効率化を実現できるようにシステムを適切に運用・管理する事により、利用者サービスの向上等を図ります。		
手段	平成27年度の図書館システムのリース期間満了に伴い、スマートフォンやタブレットなどの新しい端末やユーザインタフェースに対応した、利便性の高いシステムにバージョンアップを行います。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
スマートフォン用ホームページからの予約割合	%	—	0.0	0		2.0	2.0	100%	10
予約手続きのオンラインによる割合	%	—	92.6	92	100%	93.1	93.1	100%	93.6

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	29,802	31,673	30,395	50,512	48,357	36,526
特定財源	8	30	11	27	5	27
一般財源	29,795	31,643	30,384	50,485	48,352	36,499
所要人員 B	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	13,049	12,947	12,855	13,194	12,899	13,135
総経費 E=A+D	42,852	44,620	43,250	63,706	61,256	49,661

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度	27年度	28年度	
<b>【成果】</b> 延滞資料の督促メール本文に、資料番号に加え資料名も表示させることにより、利用者がその対象となる資料を探しやすくしました。	<b>【成果】</b> システムメンテナンスを行い、各種データを整備しました。 所蔵資料のジャンル検索に、図書・雑誌の他、CD・DVD・地域資料の区分を追加しました。利用者の蔵書検索の利便性が向上しました。	<b>【成果】</b> 図書館システムの更新により、図書館ホームページのログイン保持機能追加、返却日お知らせメールサービスの追加、スマートフォン専用ページ開設など、操作性・利便性を高めました。また、点字・録音図書の検索用ページを開設し、視覚に障害をお持ちの方や通常の図書の利用が困難な方が利用しやすい環境を整えました。	
<b>【課題】</b> 利用者を待たせない窓口業務や予約・検索などの利用者サービスが快適に行えるよう、他の通信量に影響されない帯域保障の回線に変更する必要があります。 図書館ホームページにセキュリティを考慮しつつログイン保持機能を追加し、複数本の予約等の処理手順を簡素化する必要があります。	<b>【課題】</b> 平成27年12月末の図書館システムのリース期間満了に伴い、スマートフォンやタブレットなどの新しい端末やユーザインタフェースに対応した、利便性の高いシステムに更新する必要があります。 リマインドメール機能など利用者から要望の多い機能の追加、アクセシビリティに留意した図書館ホームページの改修など、利用者メニューの操作性を高め、利用者サービスの向上を図る必要があります。	<b>【課題】</b> ホームページについてハード面での改善が図られたので、今後は、利用者にとってホームページ内の情報を迅速かつ効果的に提供できるよう、コンテンツ内容を整備充実する必要があります。 また、誰もが、どこでも、幅広く情報を入手できるよう、公衆無線wifiの設置等インターネット環境を整備する必要があります。	
指標達成度	26年度	27年度	28年度
		A	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①検索項目の多様性、蔵書目録の整備、検索精度の向上、貸出履歴の保存等、区民からの要望がありました。（図書館メールから）

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	改善・見直し	図書館ホームページの整備充実、また、公衆無線LAN(Wi-Fi等)等インターネット環境を整備していきます。 <b>② 当初予算の増減内訳</b> 公衆無線wifi用インターネット回線利用料の増 117千円 ハード機器借上げ及び保守料の増 5,787千円 システム更新に係る経費の減 △17,700千円 回線敷設経費等の減 △2,190千円
27年6月末	拡充	<b>③ 所要人員の考え方</b> 図書館システムやホームページ等電算に係る業務 1人×0.95×2人
28年5月末	改善・見直し	<b>④ 現状維持の理由</b>



# 平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	166	事業名	文京区立図書館のサービス向上
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画			
所 管	教育推進部	真砂中央図書館	
目的	多様なニーズに応じて、真砂中央図書館の中央館機能の充実を含む区立図書館のサービスの向上を図ります。		
手段	平成26年5月に出された「文京区立図書館サービス向上検討委員会報告書」を踏まえ、真砂中央図書館の改修工事を含む図書館サービス向上となる事業を進めます。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
真砂中央図書館改修準備	%	—	30	30	100%	70	70	100%	
真砂中央図書館改修工事の進捗よく度	%	—				70	76	109%	100
図書資料の貸出・返却取次拠所の設置	か所	—				1	1	100%	
学校図書館への人的支援の拡大	校	—	15	15	100%	30	30	100%	

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A		47,063	13,487	643,127	16,360	174,682
特定財源		0	0	0	0	0
一般財源		47,063	13,487	643,127	16,360	174,682
所要人員 B		0.10	0.10	0.60	0.60	0.90
職員1人給与 C		6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C		681	677	4,166	4,073	6,222
総経費 E=A+D		47,744	14,164	647,293	20,433	180,904

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	
【成果】		【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真砂中央図書館の集密書架の整備、YA（ヤングアダルト）専用空間の充実、地域資料コーナーの拡充など、区民ニーズに沿った中央館機能を充実するとともに、老朽化した空調設備や給排水設備を更新し、レイアウトの変更を含む改修工事を円滑に実施するため、実施設計やレイアウト等を施設管理課等関係所管と詳細調整しました。</li> <li>・平成27年より新向丘地域活動センターに予約資料の受け取りを行う取次所を設置するため、関係所管と運用等の調整をしました。</li> <li>・学校支援の人的支援として、小学校9校、中学校6校で実施しました。</li> </ul>
【課題】		【課題】	<p>真砂中央図書館の休館期間中に、中央館業務として指定管理者との調整、資料選定等、地区館業務として幼稚園・保育園等への出張行事、地域の児童を対象とした行事等の業務を円滑に行うことが重要です。</p> <p>リニューアルオープンに向けて、計画とおりに進行するよう準備を進めていく必要があります。</p> <p>・学校図書館への人的支援の拡大を実施しましたが、今後も学校と密に連携を取り、子ども読書活動の環境を整えていく必要があります。</p>
指標達成度		26年度	27年度
			A
			A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
<p>①約1年間の休館による真砂中央図書館のリニューアルに対する区民の期待は高まっており、再開館日等の問い合わせが28年度に入り多くなりました。また、従来から実施している学校図書館への人的支援は、27年度から全校に配置され、学校支援アンケートで「専門の知識をもっている司書の方に学校図書館を見ていただくことにより、改善点が明確になったので、助かっています」という意見がありました。</p>	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	真砂中央図書館を再開館し、区民ニーズに沿った、更なる区立図書館のサービス向上に努めます。
27年6月末	拡充	<p>② 当初予算の増減内訳</p> <p>真砂中央図書館改修関係経費事務費の減 △2,176千円 改修工事経費等の減 △466,269千円</p>
28年5月末	改善・見直し	<p>③ 所要人員の考え方</p> <p>27年度：真砂中央図書館改修関係 1人×0.2×3人 28年度：真砂中央図書館改修関係 1人×0.3×3人</p> <p>④ 現状維持の理由</p>